

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	21865
事業名	放置自転車対策推進費					
評価担当課	所属	建)総務部 道路管理課			電話番号	011-211-2456
施策名	交通ルールや自転車マナーが遵守され、事故の少ない安全な交通環					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	自転車の乗り入れの多い都心部や地下鉄・JR駅周辺では、その一部が路上に放置され、歩道の通行の妨げとなっていることから、駐輪場の整備や放置自転車の撤去等が不可欠である。
	事業内容(何を実施し)	自転車の乗り入れが多い都心部や地下鉄・JR駅周辺では、路上に放置された自転車によって歩行者の通行が妨げられているため、放置自転車を抑制し安全安心な歩行環境を確保するため、新たな駐輪場の整備、道路や駐輪場内の放置自転車の撤去・保管・返還、自転車誘導整理等を行う。 (令和4年度までは、駐輪場整備関係と通行空間整備関係が同一小事業であったが、令和5年度の小事業再編により、駐輪場整備関係と放置自転車対策関係が同一小事業となり、通行空間関係は単独の小事業へ移行した。令和4年度の決算額は駐輪場整備関係と放置自転車対策関係の経費を抜き出した金額としている。)
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	放置自転車を減らし、歩行者の安全安心な歩行環境を実現し、良好な景観を保つことで、まちの魅力向上に寄与する。
	他都市の状況	全国的に、駐輪場の整備が行われ、放置禁止区域の指定や放置自転車等の撤去を行い、安全・安心な歩行空間の確保に努めている。 (令和3年国土交通省調査では、駐輪場は調査対象909市区町村で8,883か所を設置。放置自転車撤去は調査対象909中628市区町村で実施。)
	市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外

令和4年度決算額	567,520 千円	うち特定財源	79,600 千円	正規職員業務量	5.33 人工
令和5年度予算額	515,000 千円	うち特定財源	91,654 千円	正規職員業務量	5.33 人工
令和5年度決算額	461,305 千円	うち特定財源	15,220 千円	正規職員業務量	5.33 人工
令和6年度予算額	370,000 千円	うち特定財源	51,000 千円	正規職員業務量	5.33 人工

指標	アウトプット活動指標1	放置禁止区域内の撤去台数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		5829	4600	4599	3300	-	-
	アウトカム成果指標1	都心部(午後)の路上放置台数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		1763	1000	501	475	450	425
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方		放置禁止区域の指定、放置自転車の撤去、誘導整理など放置自転車対策のほか、都心部・郊外駅での駐輪場整備を進めてきた効果もあり、この数年間で路上の放置台数が大きく減少している。 (※活動指標は、当該年度の見込みは立てられるが、現況変化に起因するため目標値なし。)				
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい		
	令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	都心部においては、駐輪場整備に合わせて放置禁止区域を拡大し、撤去業務を強化したことで効果が出ているため、この取り組みを継続するとともに、撤去業務の効率化を図る。また、駐輪場用地の確保は難しいため、様々な手法による駐輪場整備に取り組んでいく。